

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	ノンステップバス導入促進事業	所管	市民経済部 交通安全課
			TEL 2998-9140

事業の目的 (何の為に 行うか)	高齢者、身体障害者等が利用しやすい路線バスの運行。
------------------------	---------------------------

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	市内における路線バスの総車両数	対象とした数	80	台
		実際に 利用した数	4	台

活動の内容	(何を したか)	路線バス事業者が導入する低床バス(乗降がしやすい車高及び車椅子スペースを確保した車両)の購入に対し、国・県・市が協調して購入費の一部を補助する。							
活動実績	項目名	年度別導入台数	4	項目名	ノンステップバス補助導入台数累計	38	項目名	ノンステップバス保有台数累計	42
			----- 単位 台			----- 単位 台			----- 単位 台

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	3,882	1,070	3,043	9.0

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	導入率	ノンステップバス保有台数累計÷バス車輛総数(80台)×100	55 ----- 単位 %	52.5 ----- 単位 %	95.5 ----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 改善・効率化 * 改善余地なし その他 []			
		終了 ⇒	事業完了	終了	休止
	予算	* 現状どおり	増額	減額	終了

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 * 有り⇒下記評価へ 無し⇒終了				
	総合 評価	拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 []	終了		
	予算	* 現状どおり	増額	減額	終了

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	031000	TEL	2998-9140
事業コード	ノンステップバス導入促進事業					
031004						
開始年度		平成 12 年度	—	終了年度	平成 年度	

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令
	分野別計画・指針	高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律			
	関連・類似事業	所沢市交通バリアフリー基本構想			
	総合計画の体系	政策	第2章 安全・安心で快適な住みよいまち	施策	4節 交通 中柱 3 公共輸送の充実 小柱 (3) 路線バスの充実
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 15 位			
事業開始の背景	本格的高齢社会の到来、障害者の社会参加等から高齢者や障害者が路線バス等公共交通機関を安全かつ円滑に利用するための当該法律が施行されたことにより、市内で運行する路線バスを利用した移動の円滑化が図れるよう低床バスを導入を促進することとなった。				

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)	高齢者、身体障害者等が利用しやすい路線バスの運行。						
	対象(誰を、何を対象としているのか)	市内における路線バスの総車両数						
	利用数の考え方	新規に導入したノンステップバスの車両数						
	対象数	単位	平成 18 年度	80	台	平成 19 年度	80	台
	事業の具体的な内容及び実施方法	路線バス事業者が導入する低床バス(乗降がしやすい車高及び車椅子スペースを確保した車両)の購入に対し、国・県・市が協調して購入費の一部を補助する。						

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)	《 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input checked="" type="checkbox"/> 二次評価 》				
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())				
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
	改善点	平成19年度中に改善した点 ノンステップバスの購入費の一部を市が補助していることを利用者に周知するため、補助を受けて導入したことをバス車内に表示した。				

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		550	3,882	2,894
	決算(見込み含む)		1,103	1,070	
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人) (人)	(人) (人)		
	正規職員人件費		0.17 人 1,564	0.21 人 1,973	
	公債費				
	事業費合計		2,667	3,043	
	財源内訳	一般財源	2,667	3,043	2,894
		国・県支出金			
		受益者負担金			
	市債				
	その他				
	市民一人当たり(単位:円)		7.9	9.0	
	利用数一単位あたり(単位:円)		666,750.0	760,685.0	

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績	年度別導入台数	台	4	4	5	—
		ノンステップバス補助導入台数累計	台	34	38	42	—
		ノンステップバス保有台数累計	台	38	42	47	61
	成果分析	導入率	ノンステップバス保有台数累計÷バス車輛総数(80台)×100	%	目標値 46.0	実績 47.5	55.0
			%	達成率 103.3	95.5		

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性 <input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	現在の実施主体 バス事業者 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合 <input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係	受益者負担の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	明らかとなった課題	実際に導入される台数は、バス事業者の収益等の前年実績によって大幅に変わるため、当初の計画通りに導入されない場合がある。		
	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)	
平成20年度における目標設定	・今年度導入台数 ・ノンステップバス導入率	・導入台数5台 ・導入率 58.8%	平成21年3月末	
平成21年度における事業の方向性	総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())			
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
評価理由	本格的な高齢化への対応及びノーマライゼーション推進のために、当事業の必要性は今後も変わらない。バス事業者による事業計画を踏まえ、引き続き積極的に低床バスの導入を促進する。			
評価日	平成20年5月20日	記入者職氏名	交通安全課長	糟谷 守

⑧二次評価	事後評価	平成21年度における事業の方向性				
	事前評価	部内優先順位… 12 位	非常に高い	高い	やや低い	低い
	優先度評価	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	評価理由	ノンステップバスの導入については、他の自治体と比較し本市の状況が優れており、評価する。導入率の向上は西武バスの財政状況によるところが大きいことは理解するものの、市としての目標がある以上、これの達成に向け当該事業者への働きかけを行い、協力いただくよう努めるものとする。				

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り	計画コード	311
	施策の体系	3-1地球温暖化の防止	施策の方向	3-1-1エコ・モビリティの推進
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り	計画コード	3251
	基本目標	3子どもたちが安心して健やかに暮らすための環境をつくります		
	主要課題	2子育てに快適な環境づくり		
施策の方向	5子育てバリアフリーの推進			